

地域資源を活用したチーズなど乳製品工房 による地域活性化プラン

都道府県名	北海道
作成主体名	大樹町
区域の範囲	北海道広尾郡大樹町の 区域の一部(歴舟地区)



地域再生計画の概要

大樹町は生乳を年間9万トン生産し、その9割をチーズ用として出荷している酪農の町である。また、酪農家自らチーズ工房を持ち、レストラン経営やネット販売も行うなど、チーズ製造への高い関心と技術を有している。このような背景から、歴舟地区では、廃校校舎をチーズを中心とした民間による食品工房として活用する。これにより生乳等の地域資源と、町地場産品研究センターを中心とした人的資源を活用しながら、地産地消・食育の推進、起業・雇用創出など地場産業の活性化を目指す。

適用される支援措置

- ・補助金で整備された公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化



チーズ作り講習会



旧歴舟小学校